

農地法（昭和二十七年法律第二百二十九号）第四十一条第二項において読み替えて準用する同法第三十九条第一項の規定によって、農地を利用する権利を設定する裁定をしたので、同法第四十一条第三項の規定によって公告する。

令和七年三月三日

広島県知事 湯 崎 英 彦

一 農地を利用する権利を設定すべき農地の所在、地番、地目及び面積

所在及び地番		地目	面積（㎡）
東広島市河内町戸野字中河原九一〇番		田	七六六
東広島市河内町戸野字中河原九一一番		田	一、〇九一
東広島市河内町戸野字中河原九一八番		田	三九六
東広島市河内町戸野字中河原九二七番		田	二三三

二 農地を利用する権利の内容等

利用権	内容	始期	存続期間	借賃に相当する 補償金の額（円）
		令和七年五月一日	一五年八か月	七九、五五二

三 補償金の支払の方法

農地を利用する権利の始期までに広島法務局東広島支局に補償金を供託する。

四 その他

農地中間管理機構が農地中間管理権（利用権）を十五年以上有している農用地については、土地改良法（昭和二十四年法律第一九五号）第八十七条の三第一項の土地改良事業が行われることがある。